



Travelogue

ep.8 タルトまで60km



ここに来ることにしたのは、
週末のコーヒーを飲みに行くいつものcafeで、たまたま
知ったからで、他に何かの用事があったわけじゃない。

ここに来るためだけに、クルマで60km。

いつものCafeのギャラリーに並べられた、木の器やカトラリーが
旅に出ようとそそのかす。

そうだった。旅は日常の隣にいて、いつでも僕を待っている。



高速道路を3本乗り継いで、
忍者の里の看板を横目に見て、
牧草地と黄色く実った稲穂の間の
道路を行く。

里山を上る坂道に折れて、
一度切り返して、
クルマ一台がやっとはい上げられるような
この最後の"れ"の字坂をクリアすると
ようやく目的地。

Gallery + Cafe mamma mia





看板娘？

やあ、こんにちわ。











もともとは小学校の校舎として
使われきたものらしい。
だから、いまにも子供が駆け出して
きそうな廊下や、風が草の匂いを
運んでくる窓がある。

いま、こどもたちは新しい校舎に
通っているけれど、お菓子と
コーヒーの香りのするこっちの方が
いいに違いない。







ああ、なんて幸せな場所なんだ
ここは。





田んぼ、集落、丘、はるかに山並
煤煙もガスもない
風はそこから吹いてくる



手に触れるもの、目に入るもの、全てが木







和紙の貼られた天井と壁は、窓の光を柔らかく反射する（前頁）。

一枚板のテーブルでは、光が波紋のように漣をたてる。

普段、硬質な光にさらされているせいだろう。

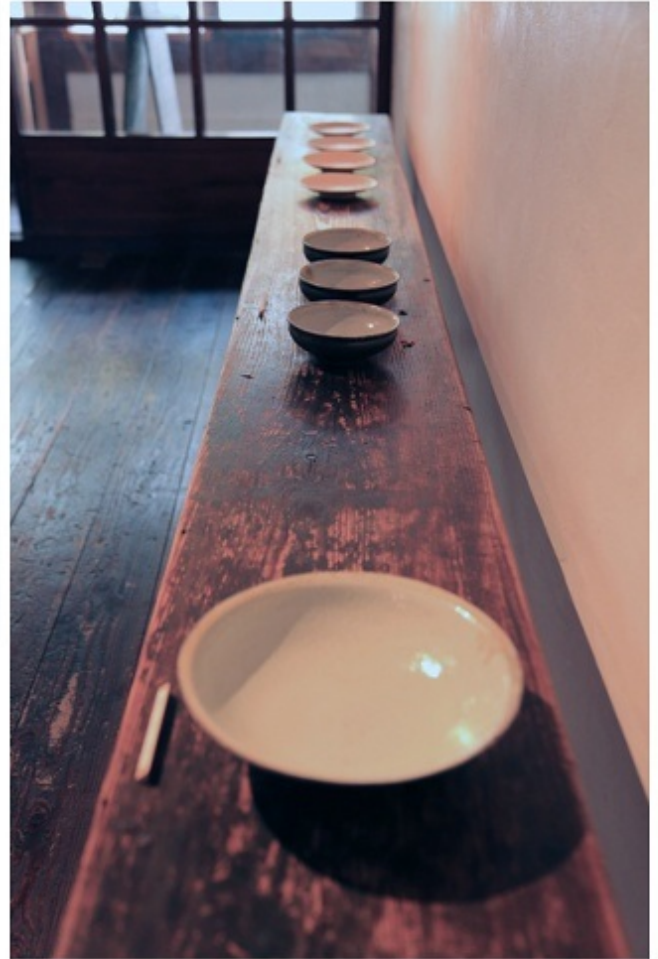
こういう光につつまれると、

作り笑顔を忘れていく。









Gallely 清岡幸道展

土から湧き上がってきた形を
手で抄くいとり、
人の用に叶うよう整えた器たち。





なんたる誘惑





— お茶の時間 —





タルトとシューを1つずつ注文。
次、いつ来れるかわからないので。
タルトはほんのり温めてある。
冷たいままだと隠れているタルトの
芳醇な香りが、一噛みごとに口腔から
鼻へと満ちてくる。



木のプレートは、川端 健夫さんの手によるもの。
あえて削り後を残した表面に、散り敷かれた桜の花びらを思う。
光の当たる角度によって変わる印象。
この起伏が滑り止めになって、浅くても皿の機能を成り立たせているのだろうか。

旦那さんは木工。奥さんはパティシエ。
夫樵婦喫 なんて。



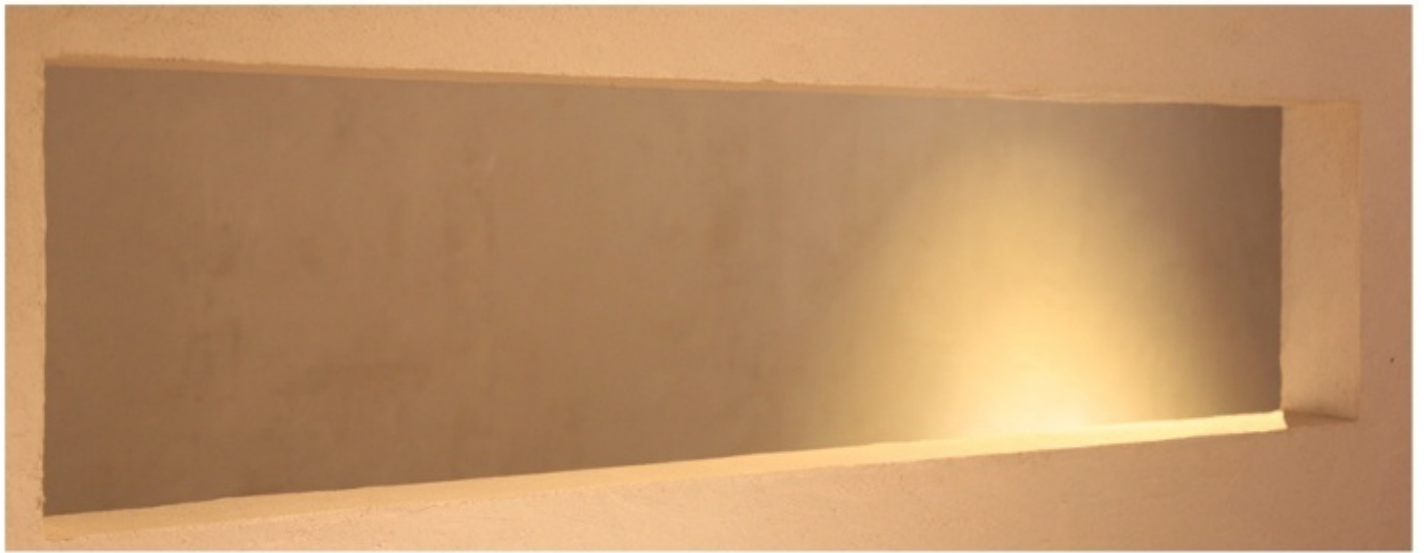
これに出会うために、60kmを走ってきた。















一昨日、中鉢を一つ買ったばかりなので、今日は見るだけ、、、というか、割れたお皿も修理して使うので新しいものを置く場所がない。

うーん。



お土産は、いちご+キルシュのコンフィチュール
フランス産ココアのサブレ
コーヒーのポッシュ（メレンゲ？）

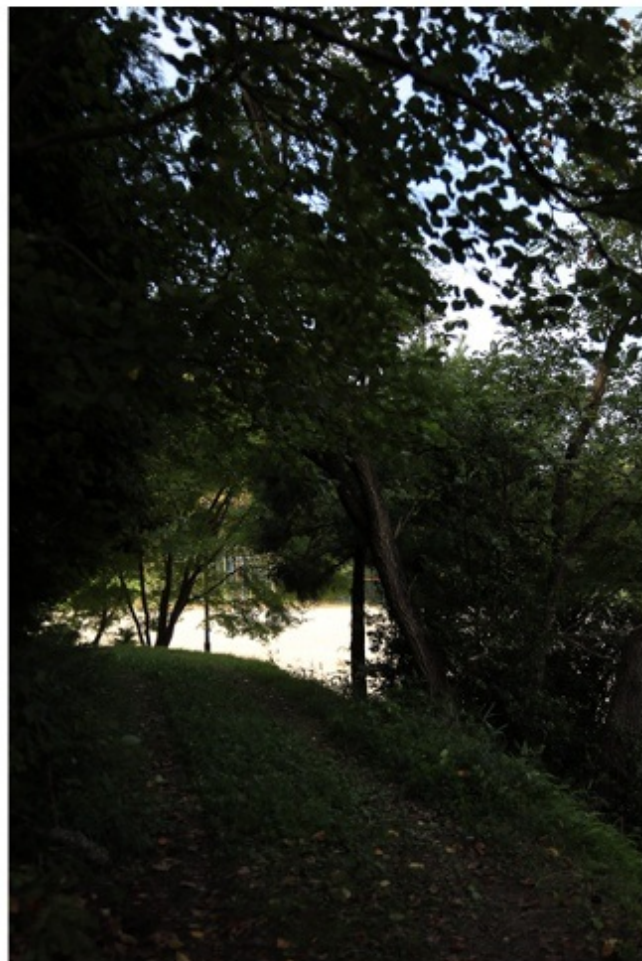
そろそろお暇を。







すぐそばに



運動場





さようなら
またいつか。



真下魚名の既刊

[京都路地入-kyotologie- 萩を巡りて](#)

[Travelogue ep.7 晩夏を探して](#)

[passer un après-midi 11 午後の過ごし方](#)

[京都路地入-kyotorogie 祇園祭 後編](#)

[京都路地入-kyotorogie 祇園祭](#)

[京都洛以外-kyoto Lucky guy 三室戸寺](#)

[京都路地入-kyotorogie 一保堂](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵 茶室](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵](#)

[京都路地入-kyotorogie 吉田山](#)

[サマータイム・ブルーズ 2](#)

[京都路地入-kyotorogie 一条通](#)

[桜守りの庭 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電](#)

[梅催い、雨模様](#)

[「passer un après-midi 10 午後の過ごし方」](#)

[冬の手紙 2](#)

[冬の手紙](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)

[iliminaria 2](#)

[iliminaria](#)

[Flower Garden II](#)

[Travelogue ep.05 山へ行く](#)

[Flower Garden](#)

[Travelogue ep.04 蓼科へ](#)

[passer un après-midi 9 午後の過ごし方」](#)

[Monochroque](#)

[passer un après-midi 8 午後の過ごし方」](#)

[passer un après-midi 7 午後の過ごし方」](#)

[空と菖蒲と、蓮と](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)

[Travelogue ep.03 近つ淡海](#)

[passer un après-midi 6 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)

[「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)

[Photo 「花水硝」](#)

[「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」](#)

[「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」](#)

[「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」](#)

[「passer un après-midi 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[「Travelogue ep.02 桜巡り」](#)

— 僕カノシリーズ — バックナンバーズ

[「僕が彼女に殺された理由（わけ）」](#)

[「僕と彼女の選択の事由（わけ）」](#)

[「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」](#)

[「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」](#)

[「僕と彼女と複雑な関係者たち」](#)

[「僕と彼女と単純な関係式」](#)

[「僕と彼女と校庭で」](#)

[「僕と彼女と校庭で 夏」](#)

[「僕と彼女のアリア」](#)

「黄金の麦畑」 [1.Largo](#)

[2.Allegro molto](#)

3.Adajo

「黄昏の王国」

[イーリアス編](#)

[アリシア編](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」](#)

[「Travelogue ep.01」](#)

[Photo「Hina」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)

[Photo「からくれないに ni」](#)

[Photo「bleu, jaune, vermillon」](#)

[Photo「H.45」](#)

Photo「Fly me to Paris I～XIV」

[Photo「祇王 こけのころも」](#)

[Photo「空と雨と6月と」](#)

小説

「ネガティブズ2」

[「ネガティブズ」](#)

[Photo「空と僕と自転車とni」](#)

[Photo「空と僕と自転車と」](#)

[Photo「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)

[Photo「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき春の野に行く」](#)

[Photo「空と月と、夜桜デート」](#)

[Photo「空と木と、ときどきの梅暦」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)

[Photo「空と木とたまに月」](#)

[Photo「からくれないに」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき月」](#)

[Photo「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)

[夕暮れの赤ちょうちん](#)

[いもうと](#)

[サマータイム・ブルーズ](#)

[危険なドライビングマジック](#)

[デフラグメント](#)

[インフルエンス あのころの僕たち](#)

[花舞い、名残り雪](#)

[詞画集「ただ憧憬だけを」](#)

[画集「彼と彼女の表紙画集」](#)